

目次

第1章 介護老人保健施設におけるリスク

- 第1節 リスクとは…………… 2
- 第2節 介護老人保健施設におけるリスクの範囲…………… 2

第2章 介護老人保健施設におけるリスクマネジメント

- 第1節 リスクマネジメントとは…………… 6
- 第2節 介護老人保健施設におけるリスクマネジメントの基本的な課題…………… 7

第3章 介護老人保健施設におけるリスクマネジメントの具体的方法

- 第1節 介護老人保健施設におけるリスクマネジメントの取組方…………… 10
- 第2節 リスクへの実態把握…………… 11
- 第3節 リスクの評価・分析…………… 15
- 第4節 リスクの対応、処理…………… 18
- 第5節 リスクマネジメントのための組織作り…………… 24
- 第6節 施設のリスクマネジメントマニュアルの作成について…………… 29
- 第7節 資料
 - 1 介護老人保健施設向け分析シート（記入例）…………… 30
 - 2 介護老人保健施設向け分析シート（具体例）…………… 32
 - 3 事故及びひやり・はっと報告書（記載例）…………… 33
 - 4 事故及びひやり・はっと報告書（記載例）…………… 34
 - 5 事故及びひやり・はっと報告のデータ…………… 35
 - 6 CSM レポート…………… 36

第4章 リスク処理手段の選択

- …………… 38

第5章 リスクマネジャー養成について

第1節	リスクをどのように考えるか？	46
第2節	リスクマネジャーに必要なリスクに対する視点	47

第6章 介護保険と介護老人保健施設

第1節	介護保険制度の概要	52
第2節	介護報酬の単価等	61

第7章 資料編

1	介護保険法（抄録）	72
2	介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準	78
3	介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準 について	102
4	療養病床再編と介護老人保健施設の課題	131
5	中間施設に関する懇談会中間報告	135
6	介護保険の施設サービス	141
7	リスクマネジメント関係用語	142

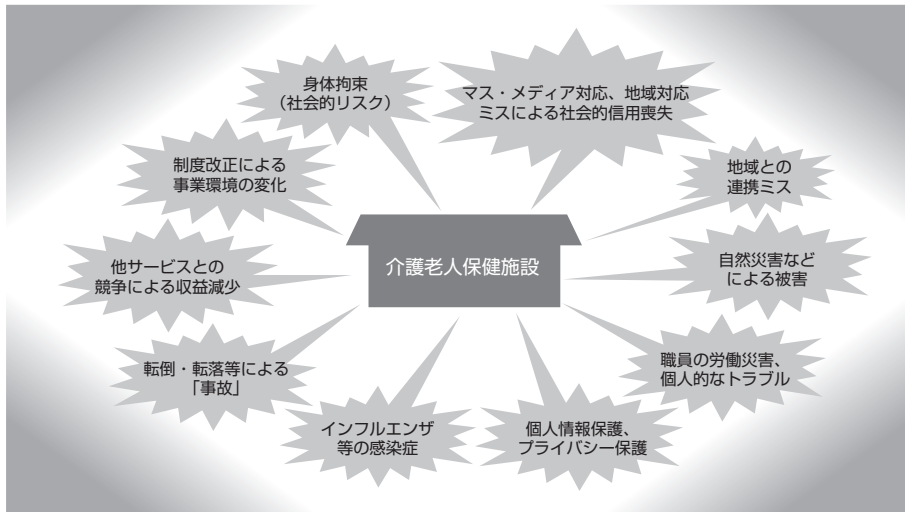
第6章、第7章は「介護老人保健施設職員ハンドブック'07年度」から引用し、一部改編。

資料編のうち、介護保険法（抄録）は平成19年7月6日改正現在、省令は平成19年5月31日改正現在、通知は平成19年7月30日改正現在で収録。

となど、極めて幅広く多岐に及ぶ。したがって、様々な視点からリスクを捉えていくことが重要となる。

介護老人保健施設におけるリスクマネジメントでは、本来、これらのすべてが対象となる。

図2 介護老人保健施設におけるリスクの範囲



このうち火災などの災害対策や感染防止対策などに関しては、すでに各施設で対応が講じられている。

自然災害はその発生を未然に防ぐことは困難であるが、被害を少なくすることは可能であり、その他の項目においても、ある程度その発生を予防することが可能である。

このように、いずれの場合も予防的対応とリスク発生時の早期かつ適切な対応によって、被害を最小限にすることが可能である。

介護老人保健施設におけるリスクマネジメントでは、医療施設と同様、「利用者の安全な療養生活」に重点が置かれるべきであり、利用者に関するリスクと施設や組織の運営上のリスクとは区別して考えることが妥当である。

このような視点に立って介護老人保健施設の利用者に関するリスクを整理すると表1のようになる。

平成13年度介護老人保健施設におけるリスクマネジメントのあり方に関する調査研究(図3)によれば、最も多い事故は転倒・転落で、事故内容別の発生比では全体の73.3%を占めていた。ついで外傷、誤嚥・誤飲、離設(離苑)、異食の順となっていた。

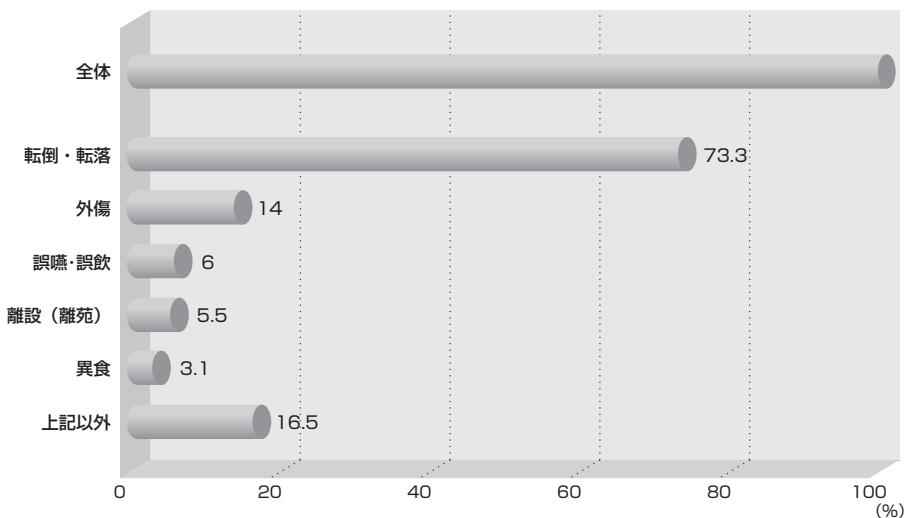
介護老人保健施設では、医療機関に見られる内服や注射などの与薬関連

事故は極めて少なく、転倒・転落などの生活事故が多いことに特徴がある。介護老人保健施設がリハビリテーションを中心とした療養生活施設であり、生活の仕方や生活のスケジュール、医療提供量が医療機関とは異なるためであろう。

表1 利用者に関するリスク

1. 医療場面	<ul style="list-style-type: none"> ・与薬や処置中(注射、与薬、温・冷罨法、酸素吸入、経管栄養など) ・施設内感染(インフルエンザ、肺結核、疥癬、MRSA、多剤耐性緑膿菌(MDRP)など) ・食中毒
2. 生活場面	<ul style="list-style-type: none"> ・食事中(窒息、誤嚥・誤飲、異物混入など) ・入浴中(溺水、転倒、熱傷、外傷など) ・おむつ交換・更衣・体位交換時(脱臼、骨折、褥創形成など) ・通所リハビリテーション送迎時(交通事故、外傷、車酔い、転倒など) ・レクリエーション・リハビリテーション中(転倒、運動過負荷など) ・清掃・洗濯他 (所持品の破損、損壊、紛失、盗難など)
3. 認知症に伴うもの	<ul style="list-style-type: none"> ・離設(離苑)、異食、暴行、自傷、自殺、紛失・破損など
4. 災害	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、水害、台風、地震など

図3 介護老人保健施設における事故



(出典：「平成13年度「介護老人保健施設におけるリスクマネジメントのあり方に関する調査研究事業報告書」)

注：合計が100%にならないのは、上記調査における質問に対し得られた、複数回答をもとに集計しているためである。

また、同調査では、施設全体の事故防止委員会を設置している施設が全体の約6割、リスクマネジャーを選任している施設は約4割となっていた。

第 2 章

介護老人保健施設におけるリスクマネジメント